

事業番号	15 05 01	事業改善シート(30年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	「探究的な学び」推進事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課
			実施期間	H30～	E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進		2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保			
	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり					

### 1 事業の概要

現状 (予算編成時)	・グローバル化が急速に進展し、不確実性を特徴とする社会を生き抜くために求められる課題発見力、課題解決力、発信力、異文化理解・協働力、創造力等のいわゆる「21世紀型学力」を、新学習指導要領(2018年3月告示予定)の内容及び方向性を踏まえ、「探究的な学び」により様々な場面において育成していく必要がある。	30年度 決算額	364,125 千円
		職員数	9.00 人
目指す姿	<p>・多様な学びの場、協働学習・PBL・高校間連携・高大連携等の学びの仕組みを通じて、いわゆる「21世紀型学力」が育成され、すべての生徒が「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働的に学ぶ態度」をバランスよく身に付けることを保障する。</p> <p>・希望する進路実現に必要なとされる「確かな学力」・「生きる力」を身に付けるとともに、グローバルに考え世界及び地域で活躍する意識を持つことができる生徒を育成する。</p> <p>(主な実施内容: PBLプラットフォーム支援事業、キャリア教育推進事業、高大接続改革対策支援事業、グローバル人材育成事業など)</p>		

事業	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況						
					成果指標	29年度	30年度				
No	No	前年度繰越	0	0	0	成果指標	29年度	30年度			
								H30目標値	成果	達成状況	
	予算額	当初予算	418,354	402,724	446,709	1	海外への留学者率(高校生)	0.92%	0.96%	0.96%	達成
		補正予算	0	-21,294	0						
		合計(A)	418,354	381,430	446,709						
コスト	Aの財源	一般財源	322,718	322,208	322,239						
		県債	0	0	0						
		国庫支出金	71,092	32,747	64,221						
		その他	24,544	26,475	60,249						
	決算額(B)	360,380	364,125								
概算人件費	職員数(人)	9	9.00	13							
	概算人件費(C)	72,918	73,962	106,834							
	概算事業費(B(A)+C)	433,298	438,087	553,543							
備考					成果指標 設定理由	第3次長野県教育振興基本計画の中でも成果指標として掲げられており、児童・生徒の学力を向上させるための指標として適切であると考えられるため。					

目標に対する成果の状況	海外への留学者率は、新規事業を複数立ち上げて海外研修・留学を積極的に促進しており、着実に成果が上がってきている。
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	教科教育、課題研究、キャリア教育、グローバル教育等による個々の学びを横断的に関連させて、教育効果を高めていくことが課題である。	先進的・先端的な研究開発に取り組む「地域協働推進校」・SGH・SSH等を中心として「探究的な学び」、「信州に根ざしたグローバルな学び」を一層推進することで、新学習指導要領、高大接続改革、高校改革をふまえた「学びの改革」を進める。

### 3 事業を構成する細事業の内容

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1		教育課程改善推進事業費	授業改善を推進する上で必要な教育課程の研究及び情報共有のための教育課程研究協議会、教育課程研究委員会の実施	1.00	6,095	6,095	18,573
2		PBLプラットフォーム支援事業費	PBLによる「探究的な学び」の実施	1.00	8,253	6,342	5,272
3		キャリア教育推進事業費	探究的な学びを通して社会的・職業的自立に向けた資質・能力を育むための事業を実施	1.00	33,365	9,375	5,378
4		カリキュラム編成支援事業費	21世紀型学力の育成を図るカリキュラム編成及び学び直しの充実を図るための非常勤講師の配置	1.50	98,881	98,126	98,581

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
5		科学教育推進事業費	理系人材を育成するための科学オリンピック育成講座の開催や国内・海外研修に係る経費の補助等を実施	1.50	25,560	21,477	30,000
6		「信州学」推進事業費	地域に根差した探究的な学びとして、すべての県立高校で「信州学」を実施	1.00	6,795	4,363	5,888
7		高大接続改革対策支援事業費	大学入試改革・高大接続システム改革に対応するための研究協議会開催、学力向上検討部会及び入試問題等検討部会の設置	0.50	9,732	9,732	-
8		高校アライアンス支援事業費	様々なスキル向上に向けて、地域又は県内の高校生を県全体で育てる取組を普及させるための学校間連携の取組支援	0.50	4,000	2,703	-
9		3つのポリシー実効化推進事業費		0.00	0	0	-
9		グローバル人材育成事業費	グローバル時代に対応する地域に根ざした人材を育成するための事業の実施	1.00	210,043	205,912	265,821
10		地域との協働による高校教育改革推進事業	グローバル時代に対応する地域に根ざした人材を育成するための事業の実施	-	-	-	17,196
<b>合計</b>				<b>9.00</b>	<b>402,724</b>	<b>364,125</b>	<b>446,709</b>

事業改善シート附表

□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業番号	事業名	「探究的な学び」推進事業費				部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課			
15 05 01												
細事業 No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施状況	29年度	30年度				
							当初（千円）	要求（千円）	当初（千円）	補正（千円）	決算（千円）	
1	教育課程改善推進事業費	教育課程改善推進事業	直接	文部科学省主催の各教科担当指導主事連絡協議会等への参加による情報収集や他都道府県等との協議、信州型S GHの検討	平成30年度高等学校新教育課程説明会（中央説明会）の参加。教育課程研究委員会及び教育課程研究協議会の開催、教育課程研究収録の発行。高校における授業改善事業作問研究会の開催及びリーディング校のを指定した。	計画通り ○	4,753	9,880	5,708	0	5,708	
1	教育課程改善推進事業費	教育課程研究指定校事業	直接	文部科学省から指定を受けた高等学校において、その指定の観点に沿った指導方法の研究を実施	阿南高等学校において、従来から教育活動に取り入れていた地域に伝わる芸能や文化・風習について学びを体系化し、町議会等と連携した取組を実施、伝統文化教育を地域とともに推進するための教育課程の編成、指導方法等の工夫改善に関する実践研究を実施した。	計画通り ○	387	387	387	0	387	
2	PBLプラットフォーム支援事業費	PBL活用支援事業	委託	大学生主宰団体と連携するプラットフォームの設立と連絡調整、プラットフォームを活用したPBLの研究と実践 委託先：大学生主宰団体等から選定	NPO法人 青春基地を委託先としてプラットフォームを設置し、県内高校へのPBL普及に向けた方策等を、長野県教育委員会への提言という形でまとめた。また、実践研究にも取り組み、坂城高校の1年生を対象に、PBL導入に向けた実践授業を公開で実施した。	計画通り ○	1,792	1,671	1,671	0	1,671	
2	PBLプラットフォーム支援事業費	信州グローバルユースセミナー	直接	PBLや探究的な学びの普及と深化を図るため、先進的取組の実績をもつ大学生主宰団体等と連携したサマースクール、アカデミアの開催	地域と関わり多様性を尊重し、国際的な視野を持った「グローバル」人材の育成を行った。8/14～21に、小布施サマースクールを実施し、海外大学生を含む大学生講師38名との協働的な学びに、本県からは高校生26名（全体で50名）が参加した。	計画通り ○	6,402	6,000	6,000	0	4,233	
2	PBLプラットフォーム支援事業費	JICAグローバル・キャンプ	直接	異文化理解、協働力、課題解決能力を育むため、JICA青年海外協力隊駒ヶ根訓練所と連携した体験講座を実施	異文化理解、協働力、課題解決能力を育むため、1/25～27にJICA駒ヶ根訓練所を会場に、JICAの語学講師、JICA（青年海外協力協会）の講師を招聘して実施した。高校生24名が参加した。	計画通り ○	970	582	582	0	438	
3	キャリア教育推進事業費	キャリア教育ステップアップ事業	直接	今後のキャリア教育の方向性を検討するための「長野県キャリア教育ガイドライン」の検証と改訂	「長野県キャリア教育ガイドライン」の令和元年度改訂に向け、学識経験者・企業等の外部委員8名を招聘し検討委員会を3回実施した。検討を踏まえ、夏にガイドラインを改訂予定である。	計画通り ○	0	748	421	0	339	
3	キャリア教育推進事業費	グローバルビジネス・インターンシップ	直接	異文化に接する態度を育み語学力を育成するために実施するアジア諸国へのインターンシップに係る費用の一部を支援	マレーシア国でインターンシップを行う際の事前学習として、外部講師の講義等を2回及び1泊2日の国内インターンシップ（セイコーエプソン、イオンスタイル松本）を実施した。	計画通り ○	0	600	600	0	363	
3	キャリア教育推進事業費	グローバルビジネス・インターンシップ	補助金	異文化に接する態度を育み語学力を育成するために実施するアジア諸国へのインターンシップに係る費用の一部を支援 補助金交付先：県内高校生9名	県内高校生9名、引率教員3名及び教育委員会1名でマレーシア国を4泊6日で訪問し、現地の県内企業（セイコーエプソン、ホクト、イオン等）を中心にインターンシップや現地視察を実施した。	計画通り ○	0	720	720	0	720	
3	キャリア教育推進事業費	キャリア・チャレンジ・プログラム	直接	生徒の社会的・職業的自立に向けた資質・能力を育むため、SSTに係る講師費用、インターンシップを推進するための費用を補助	キャリア・チャレンジ・プログラムに基づくインターンシップを行った県立高校生7,687名に損害賠償保険等を補助し、インターンシップを推進した。また県立高校10校をキャリア教育研究校として指定校し、先進的な取組を対象に講師費用等を補助した。	計画通り ○	0	26,360	3,633	0	3,206	
3	キャリア教育推進事業費	ビジネス・イノベーション・プログラム	直接	将来の地域産業を担う人材を育成するため、地域企業を中心とした短期及び長期のインターンシップを実施			0	11,496	0	0	0	
3	キャリア教育推進事業費	「目指せ！起業家」プロジェクト	直接	不確実性の時代にあって、チャレンジ精神、創造性、探究心、判断力、実行力等を育むための起業家教育の実施と研究			0	125	0	0	0	
3	キャリア教育推進事業費	「目指せ！起業家」プロジェクト	委託	不確実性の時代にあって、チャレンジ精神、創造性、探究心、判断力、実行力等を育むための起業家教育の実施と研究 委託先：民間事業者			0	1,950	0	0	0	

事業番号	事業名	「探究的な学び」推進事業費				部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課			
15 05 01												
細事業No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施状況	29年度	30年度				
							当初（千円）	要求（千円）	当初（千円）	補正（千円）	決算（千円）	
3	キャリア教育推進事業費	SPH設置事業	直接	世界に通じる専門的職業人の育成に取り組むSPH指定校への運営支援	主体的に地域の課題を発見し、地域と協働して解決に取り組み、グローバルに発信することのできる能力の育成に取り組んだ。 指定校：諏訪実業高校（商業・家庭の学科間連携）。新規指定2校を見込んだが、採択されなかった。	計画未満△	24,506	24,508	24,508	-20,779	3,255	
3	キャリア教育推進事業費	社会をつくる高校生の主権者教育推進事業	直接	持続可能な社会の形成に積極的に参画する態度を持つ生徒を育成するため、地域の活性化につながる実践活動の運営を支援	文部科学省が設定した指定校数が大幅に減少したため、県内高校から応募がなく、未実施。	未実施×	1,895	1,983	1,983	-1,983	0	
3	キャリア教育推進事業費	高等学校教科競技大会派遣事業	交付金	教科競技活動の振興を図るため、専門高校の全国大会等への参加費用の一部を補助 交付先：高等学校教科競技大会に参加する団体	専門高校の全国大会等（農業クラブ、全商大会等）の出席に際し、県立高校の延べ147名の生徒に宿泊費と交通費の一部について補助を行った。	計画通り○	1,500	1,500	1,500	0	1,492	
4	カリキュラム編成支援事業費	カリキュラム編成支援事業	直接	県立高等学校が「21世紀型学力」の育成のために、各課題に対応するカリキュラムを実践することによって増加する担当教員の授業時数に対する非常勤講師等の配置	県立高校76校に計221名の非常勤講師を配置し、また、36校に計41名の学習支援員を配置し、各校の特色あるカリキュラムの運営を支援した。	計画通り○	100,223	113,002	98,881	0	98,126	
5	科学教育推進事業費	科学オリンピック養成講座	直接	科学に興味のある高校生が、各種科学コンテストに挑戦するための実力強化講座を実施	実力養成講座を2回（延べ5日）、延べ222名の高校生が参加。信州大学の先生を講師に招き、物理・化学・生物・地学・情報の講義や実習を実施。講座受講者のうち、4名が本選に出場。	計画通り○	2,368	1,134	1,134	0	887	
5	科学教育推進事業費	科学オリンピック養成講座	委託	科学に興味のある高校生が各種科学コンテストに挑戦するための実力強化講座における高校生の移動に係る業務委託 委託先：民間事業者	実力養成講座を2回（延べ5日）、延べ222名の高校生が参加。会場は信州大学理学部なため、須坂や長野地区からの参加生徒のためにマイクロバス等を手配した。	計画通り○	2,125	735	735	0	735	
5	科学教育推進事業費	サイエンス・アソシエーション・プロジェクト（SAP）	直接	高等学校等が国内外の大学・研究機関・企業と連携して行う科学技術に関する研修経費の助成	国内研修は10校15件、海外研修は8校8件を実施。海外研修先は、アメリカ、タイ、マレーシア、オーストラリア、スリランカ、シンガポール。国内研修の生徒は信州サイエンスミーティングでポスター発表、海外研修の生徒は県庁でポスター発表とプレゼンを行った。	計画通り○	12,919	16,932	16,932	0	16,932	
5	科学教育推進事業費	サイエンス・アソシエーション・プロジェクト（SAP）	補助金	高等学校等が国内外の大学・研究機関・企業と連携して行う科学技術に関する研修経費の助成 補助金交付先：県立高校以外の県内の高校等	国内研修で東海大学付属諏訪高等学校を助成し、信州サイエンスミーティングでポスター発表を行った。 国外1件、国内2件見込んだが、国内1件に留まった。	計画未満△	3,500	3,500	3,500	0	500	
5	科学教育推進事業費	信州サイエンスキャンプ	直接	信州サイエンステクノロジーコンテスト、課題研究合同研修会、信州サイエンスミーティングの実施	信州サイエンステクノロジーコンテストには9校22チーム（129名）、課題研究合同研修会には13校（199名）、信州サイエンスミーティングには16校（220名）が参加した。科学の甲子園の県予選を兼ねたサイエンステクノロジーコンテストでは、秀峰中等教育学校が優勝し全国大会に出場。その他の事業でも参加校数や生徒数が増加した。	計画通り○	432	433	433	0	194	
5	科学教育推進事業費	スーパーサイエンスハイスクール指定校支援事業	直接	将来の国際的な科学技術系人材を育成するために、先端的な理数系教育を実施する文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール事業の指定校への事業支援	3校の指定校のうち、飯山高校は中山間地の利点をいかした科学技術系人材の育成に関する研究で、屋代高校は世界で活躍するサイエンスリーダーの育成に関する研究で3年目の中間発表を無事に終了。諏訪清陵高校は「清陵ネット」で展開する探究力あふれる人材の育成に関する研究で2年目の研究を行った。	計画通り○	2,739	2,826	2,826	0	2,229	
6	「信州学」推進事業費	「信州学」推進事業	直接	県内高等学校における地域に根差した「探究的な学び」の推進、その取組の発信及び普及	地域に根差した探究的な学びとして「信州学」をすべての県立高校で実施した。また、「信州学」をさらに深化・発展させるために、年2回「信州学」推進委員会を開催して今後の在り方について検討した。また、「信州学」高校生アソシエーションとして、地域における諸課題を発見するワークショップを実施した。	計画通り○	11,819	6,810	6,519	0	4,143	
6	「信州学」推進事業費	「信州学」推進事業	委託	県内高等学校における地域に根差した「探究的な学び」の推進、その取組の発信及び普及 委託先：民間事業者	第2回「信州学」サミットを11月に長野駅コンコースを会場として実施した。県内10校によるプレゼンテーションとポスターセッションを実施し、取組を発表するとともに参加者・参観者との間で学びの交流を行った。 受託業者 株式会社共立プランニング	計画通り○	1,080	276	276	0	220	

事業番号	事業名	「探究的な学び」推進事業費			部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課			
15 05 01											
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	29年度	30年度			
							当初 （千円）	要求 （千円）	当初 （千円）	補正 （千円）	決算 （千円）
7	高大接続改革対策支援事業費	高大接続改革対策支援事業	直接	学力向上検討部会及び入試問題等検討部会の設置や、アカデミック・サポート推進支援等を実施	入試制度改革に合わせ、新たな学力検査問題について検討する「学力検査WG」、学びの基礎診断等の活用による基礎学力の定着に向けて各校P D C Aの在り方について検討する「学力向上検討委員会」を設置し、実施方針等を策定、各校へ周知した。また、アカデミック・サポートでは生徒の進路実現に向けた各校の学びの支援の充実を図った。	計画通り ○	16,540	13,214	9,732	0	9,732
8	高校アライアンス支援事業費	高校アライアンス支援事業	直接	進路希望を同じくする生徒に対し、複数の高校が協働的に実施する合同講座や合宿への支援	進路希望等の目的を同じくする生徒に対し、大学教育改革の現状を理解し、深い学びの実践に向けた課題設定の方法等について認識を深める講座、アカデミックな研究現場の見学や説明を通じ、学問への知的好奇心の喚起を図るための講座など、複数校が連携して実施した。	計画通り ○	0	5,550	4,000	0	2,703
9	3つのポリシー実効化推進事業費	3つのポリシー実効化推進事業	直接	高校入学から卒業まで「3つの方針」に基づく一貫性を持った理念による教育を行うため、これに関わる入試、評価法、学力向上について外部有識者を含む検討会を設置し長野県教育の方向性を検討			0	2,330	0	0	0
10	グローバル人材育成事業費	S G H設置事業	直接	S G H指定校の取組を県内高校に普及することで、信州に根ざし世界に通用する人材を育成するため、指定校の運営を支援	S G H 5年目の長野高校と4年目の上田高校のグローバル人材育成を支援した。両校とも生徒たちがグローバルな視野の中で地域課題に取り組み、研究成果を世界に発信した。	計画通り ○	27,068	14,241	14,241	0	13,150
10	グローバル人材育成事業費	S G L H・国際バカロレア（I B）認定校設置に向けた研究事業	直接	・S G H事業の後継事業の研究事業 ・国際バカロレア（I B）認定校の調査研究事業			0	1,490	0	0	0
10	グローバル人材育成事業費	英語コミュニケーション能力向上事業 ・留学促進支援事業	補助金	世界に通用する発信力、コミュニケーション能力の育成を図るための留学に係る費用の一部を支援 補助金交付先：県内の高校生	須坂高校の短期留学を支援した。英検2級以上の生徒20名を校内で選抜し、春休みを利用してマルタ共和国にて2週間語学研修を行った。	計画通り ○	3,000	1,600	1,600	0	1,600
10	グローバル人材育成事業費	英語コミュニケーション能力向上事業 ・グローバル語り部派遣事業	直接	進路選択に留学を加える機会を提供する留学キャラバンや、海外経験のある大学教授や企業人の講話を聴くグローバル講演会の実施	9か所の高等学校において、海外留学や世界で活躍している大学教授や企業人、学生を招き、高校生を対象に進路選択のための指導を行った。	計画通り ○	1,216	1,213	1,213	0	1,034
10	グローバル人材育成事業費	英語コミュニケーション能力向上事業 ・英語授業改善事業	直接	授業力向上のための研修会などの実施	英語指導力アップスキルプロジェクトとして研修会を年6回、講演会を1回開催した。また、ワーキンググループにおいて「発信力評価のアイデア集」を作成し、県内の高校に配布した。夏には、「英語教員指導力向上研修」を県内4地区で2日間ずつ開催し、英語教育改善推進リーダーが4技能の指導法を教授した。	計画通り ○	2,061	1,564	1,564	0	324
10	グローバル人材育成事業費	英語コミュニケーション能力向上事業 ・外国語指導助手配置事業	直接	世界に通用する発信力、コミュニケーション能力の育成を図るために県立高校等へ外国語指導助手を配置	18名の外国語指導助手を、県内96か所の高等学校等に配置し、英語コミュニケーション能力の向上を図った。	計画通り ○	158,693	161,923	161,059	0	158,492
10	グローバル人材育成事業費	英語コミュニケーション能力向上事業 ・外国語指導助手配置事業	委託	世界に通用する発信力、コミュニケーション能力の育成を図るために県立高校等へ配置する外国語指導助手の業務委託 委託先：民間事業者	7名の外国語指導助手を、県内19か所の高等学校等に配置し、英語コミュニケーション能力の向上を図った。 委託先：（株）インタラック関東中部	計画通り ○	30,366	30,366	30,366	0	30,366
10	グローバル人材育成事業費	「海外での学び」推進事業	委託	世界の様々な分野で活躍・貢献できるグローバル人材を育成するため、「海外での学び」を推進する。H30年度は台湾高雄市において、S D G s分野の探究学習に取り組む留学プログラムを実施する。台湾高雄市への渡航及び滞在等に係る旅行業務の委託 委託先：民間旅行代理店	県企画の留学プログラム「S D G sスタディツアー」を台湾・高雄市等で実施。6泊7日の行程で、県内16校から22名が参加した。高雄市内の高校の寮に宿泊し、台湾の生徒たちとの授業体験・交流を実施したほか、企業や公的機関を訪問し、S D G sのいくつかの要素について理解を深めることができた。	計画通り ○	0	0	0	1,400	893
10	グローバル人材育成事業費	「海外での学び」推進事業	直接	留学後、参加した高校生の成果報告書を作成	事業の広報を兼ねた成果報告書を3,000部制作した。学校だけでなく、現地機関、企業等に配布し、事業について広く広報していく予定。	計画通り ○	0	0	0	68	53

事業番号	事業名	「探究的な学び」推進事業費				部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課			
15 05 01												
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	29年度	30年度				
							当初 （千円）	要求 （千円）	当初 （千円）	補正 （千円）	決算 （千円）	
合 計							418,354	467,649	402,724	-21,294	364,125	